

水耕ネギ根腐病対策としての定植パネルの太陽熱消毒

水耕ネギの根腐病は、繰返し使用される**定植パネル**に**ピシウム菌**が残存し、次作の伝染源となっています。そこで、簡易にできる殺菌方法として、夏期の**太陽熱**利用による方法を考案しました。



伝染源は？

パネルNo.	パネルの洗浄	感染株率%
1	なし	50
2	あり	28
3	あり	6
4	あり	44
5	あり	89
6	あり	33
7	あり	11
8	あり	17
9(新規)	なし	0

パネルの洗浄は塩素殺菌と水洗いによる

定植パネルに**ピシウム菌**が残存し、次作の伝染源になっています。

そこで

太陽熱消毒

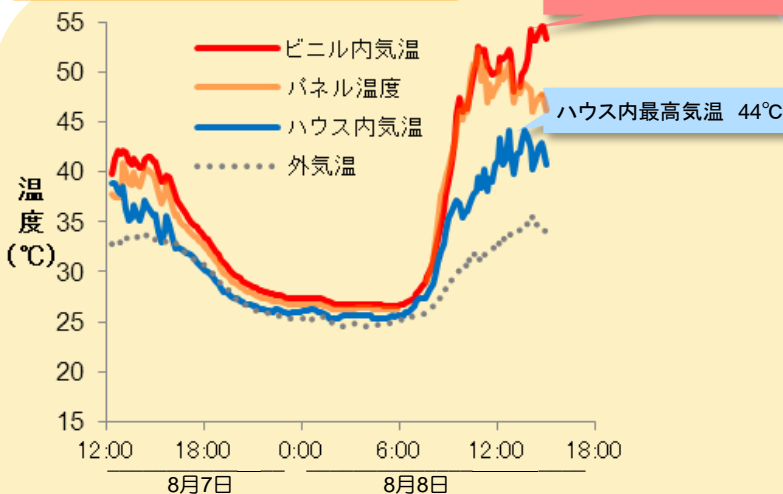


農業用ビニルを被せるだけ！

パネルは濡れたまま入れます。

中に最高最低温度計を設置します。

ビニル内の温度推移



8月晴天日のハウス内でパネルを**ビニル**で密封し、**1日以上**放置すると、ビニル内の最高気温は**55°C**になりました。

殺菌効果

処理方法	感染株率 (%)	最高気温 (°C)
太陽熱消毒	8	55
風乾	48	44
水洗のみ	97	—
無処理	96	—

風乾はパネルをビニルで覆わず、ハウス内に太陽熱消毒と同時間放置しました。

処理後のパネルにネギを植えると、無処理と水洗のみの感染株率が**95%以上**と高率であったのに対し、**太陽熱消毒は8%**と**殺菌効果が認め**られました。

55°C 最高気温が**55°C**に達することが**殺菌の目安**と考えられるので、ビニル内に最高最低温度計を設置して確認します。

育苗水管理，養液管理技術と組み合わせて，根腐病を予防します。